



## 紙上公共施設見学会

### 「こうのとりの里」

野田市の生物多様性の取り組みのシンボルとして、昨年12月から、自然再生の進む江川地区で2羽のコウノトリのつがいの飼育を開始しました。

飼育施設の名称は、3月に市内の小学生から募集し、最も多く応募があった「こうのとりの里」に決定しました。

その後6月には待望のひなが誕生し、現在は4羽のコウノトリを見ることが出来ます。

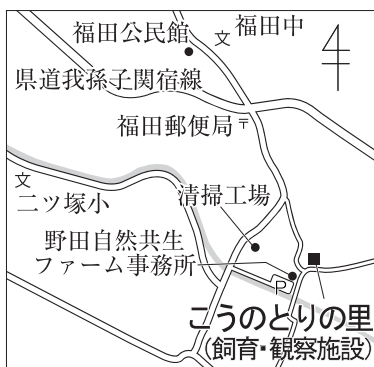
施設は、管理棟と飼育観察棟、公開ケージからなり、管理棟はスタッフルームのほか、調理室

とレクチャールームを備え、江川地区での自然環境学習や講習会などにも利用することが出来ます。

また、飼育観察棟では、江川地区に生息する生き物の展示や、全面ガラス張りの観察スペースから公開ケージで飼育されてい



双眼鏡の貸し出しも



るコウノトリを観察することができます。

【公開時間】月曜日（祝日の場合は翌日）と年末年始を除く毎日13時～15時

※30人以上の団体は、管理棟☎719711741へ予約が必要です

## 市民訪問

### 継続してきた結果が

### 優勝の成果に

谷口 隆一郎さん  
北方 達一朗さん



40年の歴史を持つ棒術の一種である杖道の大会が7月20日、東京都で開催され、谷口隆一郎さん、北方達一朗さんのペアが四段の部で優勝しました。

試合は、防具を使わず立ち合いです、決まった形の優劣を二人一組のトーナメント方式で競うもので、「日ごろの練習の成果でお互いの息がぴったり合いました」と、二人は喜びを噛み締めます。

稽古は、春風館道場で毎週土曜日行っているそうで、「所属する野田杖道会は、八段の先生

など指導者にも恵まれているため、柏や流山から参加される方もいますよ」と、会長も務める谷口さんは、今後の抱負として「杖道で出会った仲間との縁を大切にしながら長く継続したい」とも。

北方さんも「杖道の稽古を続けてきて良かった。これからも腰を据えて長く取り組みたい」と熱意を語っていただきました。

谷口さん：堤根在住・昭和39年生まれ / 北方さん：春日町在住・昭和38年生まれ ※入会や見学の間合せは、谷口☎712213994へ

## トピックス

### 豊かな自然の中 昔ながらの稲刈り体験

自然再生が進む江川地区の市民農園で、鎌を使って一株ずつ刈り取る昔ながらの稲刈りが、9月1日行われ、23人が参加した。



のろし(写真右)に掛かった稲穂

黄金色に染まった田んぼの中、刈り取った稲は根元を縄で束ね、天日干しするための「のろし」に掛けた。時間と手間のかかる作業に、参加した家族連れらは、大粒の汗を滴らせながら収穫を楽しんでいた。

### ケーキやお菓子作りで

### 働くことの大切さを体験

市内の中学校では、キャリア教育の一環で進路の選択・決定に役立ててもらおうと、2年生を対象に毎年、職場体験を行っている。



ひとつずつ丁寧に梱包

関宿中学校では、9月3日から3日間、26人が飲食店や病院、小売店など14か所で体験。洋菓子店では、2人がケーキや焼き菓子などを作ったり、商品の梱包を行って、働くことの大切さを学んだ。